

世界遺産にふさわしい  
日本一のまちづくり



市長室から

岩井 けんたろう

富岡市の財政状況について  
(第2部)

**財政状況の改善**  
(→は平成18年度末と平成27年度末を比較)

|  |                                    |
|--|------------------------------------|
| ●借入金残額 (年度末)<br>168億円 → 124億円<br>※ 26.2%の減少  | ●借入金返済額<br>25億円 → 16億円<br>※ 36%の減少 |
| ●職員数 (各年4月1日現在)<br>486人 → 395人<br>※ 18.7%の減少 | ●職員人件費<br>26億円 → 19億円<br>※ 27%の減少  |

前号では、旧市町合併から現在までの10年間の財政指標の推移をお知らせしました。本号では、財政状況の改善につなごうとした改革の具体的な事例と今後の展望をお伝えします。

まず、10年程前の私を一番悩ませていたのは、「市の借金(返済額)の多さ」でした。特に、平成初期は「もみじ平総合公園」「かぶら健康センター」などの大規模な施設整備を行ってあり、その財源として大きな借金をしています。これに対する返済が平成18年頃は多額となっていました。また、返済の負担を大きくしていたもう一つの理由として、当時の借入利率が高かった(年利5%以上のももあり)ことも挙げられます。

そこで、借金返済の負担を減らすにはどうしたらよいかを考え、当たり前のことですが、「極力、建設投資を控えること」「返済額以上の借金をしないこと」「高利の借金は繰り上げ返済や借り換えをする」とを具体的な方針として実践。その結果、10年間で借金残高は44億円、借入金返済額は9億円減少しました。

もう一つの悩みは、「人件費コストが大きいこと」でした。新設合併したばかりということもあり、当時は職員数や管理職ポストが多く、組織全体が肥大化していました。

そこで、職員定数と管理職ポストの見直しを行うため、まず、職員定数管理計画を策定し、削減の目標値を定めました。その上で、民間でできることは民間に仕事を預けるなど、委託化あるいは民営化を進めることで職員数を削減、併せて管理職ポストも減らし、組織のスリム化とともに、職員の人件費コストを圧縮。その結果、10年間で職員数は91人、職員人件費は7億円減少しました。

このように、懸案事項であった借金残高と人件費は減り、財政状況は好転しました。

これにより、新たなサービスや課題解決にお金を使うことができるようになりました。今後は、良好な財政基盤を維持しつつ、世界遺産のまちとして魅力にあふれ、誇れる日本一のまちの実現に向け、積極的な先行投資をしていきますのでご期待ください。

次号は、その礎となる新年度予算の概要をお知らせします。

新連載 市内の歴史的建造物 (第1回)

荳塚直次郎製糸場跡 1

写真を見ていただきたい。写真の説明には「甘楽郡富岡町荳塚直次郎製糸場」とありますが、これは宮内庁書陵部が所蔵している写真です。

では、なぜ地方の小さな製糸場の写真が宮内庁に保管されているのでしょうか。実は明治天皇はよく全国各地に行幸し、その発展ぶりを視察しております。その際には写真師を連れていきますが、明治11年の北陸東海地方の巡行の際には群馬県は高崎において「上野国名勝写真」75枚の写真を献上しております。このようにして収録された写真は39道府県に及び、これらを編集して「明治の日本」という写真集が刊行されています。

あらためて群馬県から献上された写真を眺めてみますと二つの特色が見て取れます。

その一つは教員養成のための師範学校や臨時教員養成のための錦川学校(現県立富岡高校)のほか13の小学校。もう一つは官営富岡製糸場ほか11の民間製糸場です。この二分野だけで全体の36%とな



り、群馬県がいかに教育と殖産興業、特に製糸業に力を入れているかを示したのと言えましょう。

当時、明治政府は進んだ欧米諸国に追いつくため富国強兵・殖産興業政策を推し進めていました。富国強兵の一環として教育の充実、また輸出の主流を占めていた良質な生糸の大量生産を目指して官営模範工場の富岡製糸場を設立すると同時に民間の製糸場の建設を促していたのです。ときの県令相模原素彦は国の政策と群馬県は同じ歩みをしていることを強調したかったのではないのでしょうか。

(富岡製糸場総合研究センター所長 兼富岡製糸場名誉顧問 今井幹夫)

1月の市長交際費

(1月分合計 186,680円)

市長交際費は、市政を円滑に運営するため、市長が市を代表して個人または団体との交際に要する経費です。月ごとの市長交際費の支出状況を「広報とみおか」および市ホームページで公開しています。

問い合わせ 秘書課秘書係 (☎内線 1205)

| 日   | 区分 | 内容  | 金額(円)  |
|-----|----|---|--------|
| 4日  | 会費 | 長坂拳弥氏阪神タイガース入団祝賀会費                        | 10,000 |
| 6日  | 会費 | 富岡市区長会理事会新年会会費                            | 5,000  |
| 6日  | 会費 | 上毛新聞社新年交歓会会費                              | 10,000 |
| 11日 | 会費 | 富岡市交通指導隊新年会会費                             | 5,000  |
| 11日 | 会費 | 東富岡地区新年互礼会会費                              | 4,500  |
| 12日 | 会費 | 富岡地域経済団体会員新年会会費                           | 3,000  |
| 13日 | 会費 | 富岡市妙義商工会新年互礼会会費                           | 5,000  |
| 14日 | 会費 | 富岡市甘楽郡医師会新年会会費                            | 5,000  |
| 14日 | 慶祝 | 公園組道祖神祭御神酒代                               | 1,620  |
| 15日 | 慶祝 | 星田区虚空蔵菩薩例大祭、中央区・19区合同 どんど焼き、田篠区どんど焼き祭御神酒代 | 4,860  |

| 日   | 区分  | 内容                         | 金額(円)  |
|-----|-----|----------------------------|--------|
| 16日 | 会費  | 議友会総会および新年会会費              | 6,000  |
| 17日 | 会費  | 連合群馬西部地域協議会2017新春のつどい交流会会費 | 5,000  |
| 18日 | 会費  | 富岡甘楽保護区保護司会新年懇親会会費         | 4,000  |
| 19日 | 会費  | 富岡甘楽危険物安全協会新年会会費           | 5,000  |
| 19日 | 会費  | 富岡甘楽歯科医師会新年会会費             | 5,000  |
| 19日 | 会費  | 富岡青年会議所新年祝賀会会費             | 5,000  |
| 20日 | 会費  | 富岡木材組合新年会会費                | 5,000  |
| 20日 | 会費  | 鍋川土地改良区新年会会費               | 2,000  |
| 20日 | 会費  | 富岡市小中学校PTA連合会新年会会費         | 5,000  |
| 22日 | 会費  | 富岡建築業組合新年会会費               | 5,000  |
| 24日 | 会費  | 富岡市更生保護女性会新年会会費            | 4,000  |
| 25日 | 会費  | 富岡市農業委員会新年会会費              | 5,000  |
| 25日 | 会費  | 富岡製糸場を愛する会新年会会費            | 5,000  |
| 27日 | 会費  | 富岡交通安全協会新年役員情報交換会会費        | 5,000  |
| 27日 | 会費  | 富岡市くらしの会新年会会費              | 2,500  |
| 28日 | 会費  | 富岡市保育部会新年会会費               | 5,000  |
| 31日 | 会費  | 富岡市シルバー人材センター新年会会費         | 5,000  |
| 1月分 | 弔慰  | 香典(4件)                     | 39,200 |
| 1月分 | その他 | 手土産代(5件)                   | 15,000 |

地域づくりピックス

富岡地区地域づくり協議会 活動紹介

そばとひまわりが結ぶ地域のつながり

富岡地区地域づくり協議会の高齢者支援部会と地域環境美化部会の活動について紹介します。

◎高齢者支援部会

年間6〜8回、「そば打ち料理教室」を開催しています。開催場所や参加者の年齢はさまざまで、中には三世代で参加している家族もいます。慣れない手つきでそばをこねる子どもの様子を周囲の人が優しく見守ったり、アドバイスをしたりと、世代を超えて地域の人たちが交流できる場となっています。

◎地域環境美化部会

「花の街とみおかプロジェクト」と題し、地域の皆さんと一緒にひまわりを飾り、まちなかの路地をひまわりで彩る活動を行いました。秋に行われたこの活動は、「季節はずれのみまわり」として、観光客にも関心を持っていただきました。



●本事業の内容については、地域づくり課地域づくり係(☎内線12508)までお問い合わせください。